

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

武雄市長 小松 政

市町村名 (市町村コード)	佐賀県武雄市 (41206)
地域名 (地域内農業集落名)	山内町 (赤田・筒江、小路・古場、網の内・上原、今山東・今山西、大砂古、宮の元・松原・重川内、 臼の川内、大野中・下、下黒髪二、下黒髪一、大野上、宿、水尾・蜂の巣、徳蔵・淵の上・ 久保田、大切・峠・狩立・板ノ川内、辺田・寺の下、白岳・山下、館・原・砂古・平野、柳原、 下山・小川内、山西、船ノ原下、網土原、原中、鳥海北中、鳥海北下、グミノ木、鳥海北 上、駅通り、岩の口、茅場・上・下、鳥海南下、鳥海南上、永尾上・下、山浦、鶴の原、鳥海 南中、踊瀬一・二、柿古場、中通辰石、津々良、中郷、稗田、森蓮和、岡方、谷川内、上 戸、山口・馬場野)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6 年 10 月 22 日 (第 2 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・武雄市山内町は黒髪山、青螺山、黒岳山系が連なり、南に神六山、岡方山系に取り囲まれ、総面積の54%が森林を占める農山村である。

・米、麦、大豆の経営農地が多く、各所ではお茶、チンゲンサイ、いちご、みかん、畜産なども営まれている。

・地域農業の課題としては離農者の増加、後継者不足。また圃場整備竣工から約40年経過しているため農業用設備の老朽化が進んでいる。

(2) 地域における農業の将来の在り方

・土地利用型農業(米・麦・大豆)…集落営農、生産組合単位で構成員が経営に取り組んでいく。

・施設園芸(チンゲンサイなど)…認定農業者、認定新規就農者が規模拡大など検討しながら経営継続を行っていく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	657 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	657 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

・農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・生産組合、機械利用組合単位で農作業の効率化のための団地化、団地面積の広域化を検討していく。
(2)農地中間管理機構の活用方針
・地域計画策定後は中間管理機構を通じて農地の貸し借りを行っていく。
(3)基盤整備事業への取組方針
・圃場整備が行われて約40年の時間が経過し、水路・パイプラインなども老朽化が進んできている。点検を行い、必要であれば国、県の事業による更新など検討していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・新しい認定農業者、認定新規就農者の育成について自治体、JAなどの協力を受けて取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①…イノシシ被害が各地で発生しているため、国事業や市の事業を活用してWM柵・電柵の設置により被害を防ぐ。昨今ではカモによる麦作被害が増えてきている。それらの対策も講じていく。
- ②…環境保全型農業直接支払の交付を受けて、有機農業の要件を満たせる限り継続していく。
- ⑦…多面的機能支払や中山間地域等直接支払を活用した共同設備の維持管理を行っていく。